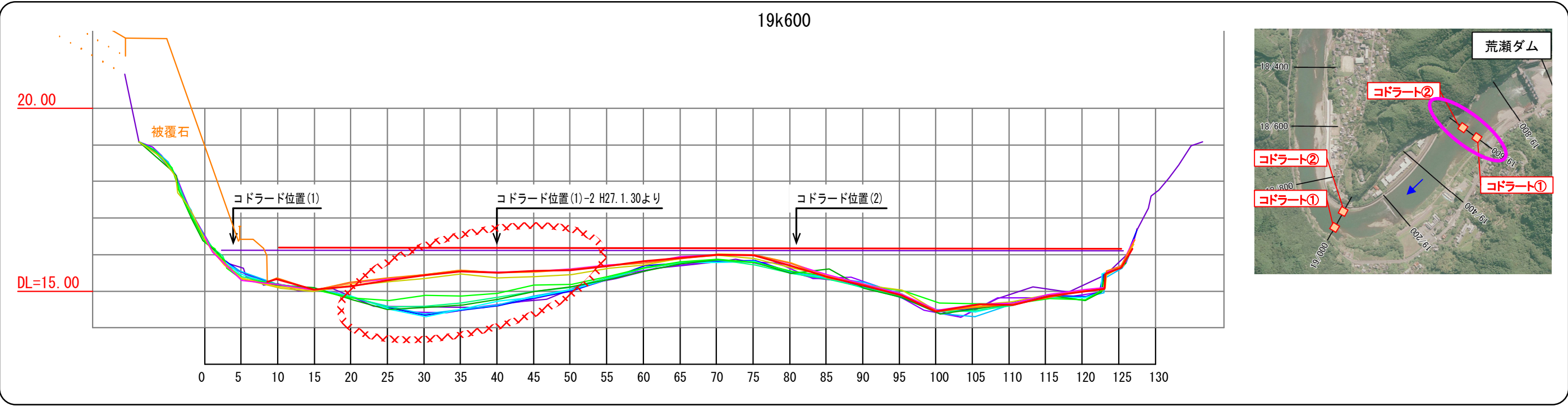
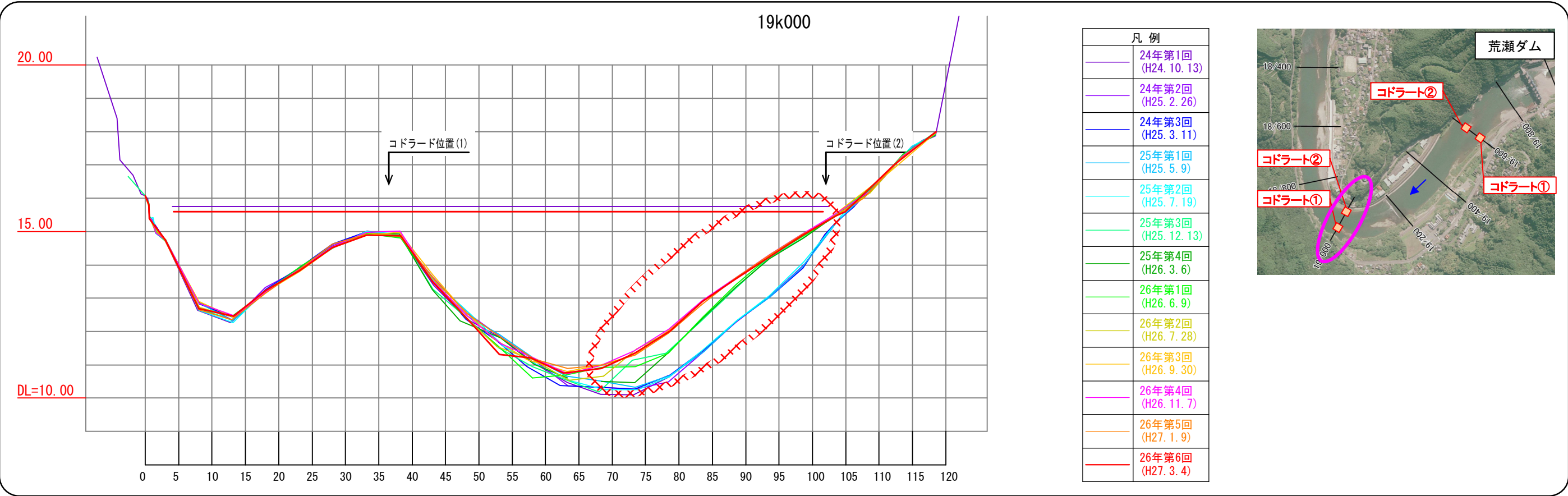


【荒瀬ダム下流における物理環境（横断形状）の変化の概要】

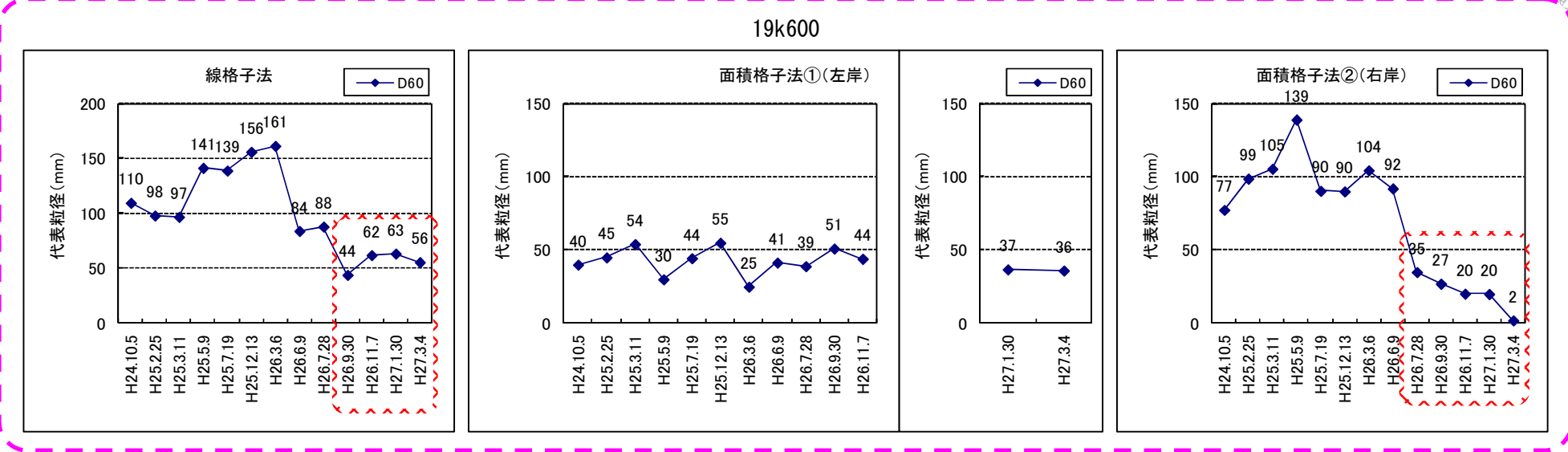
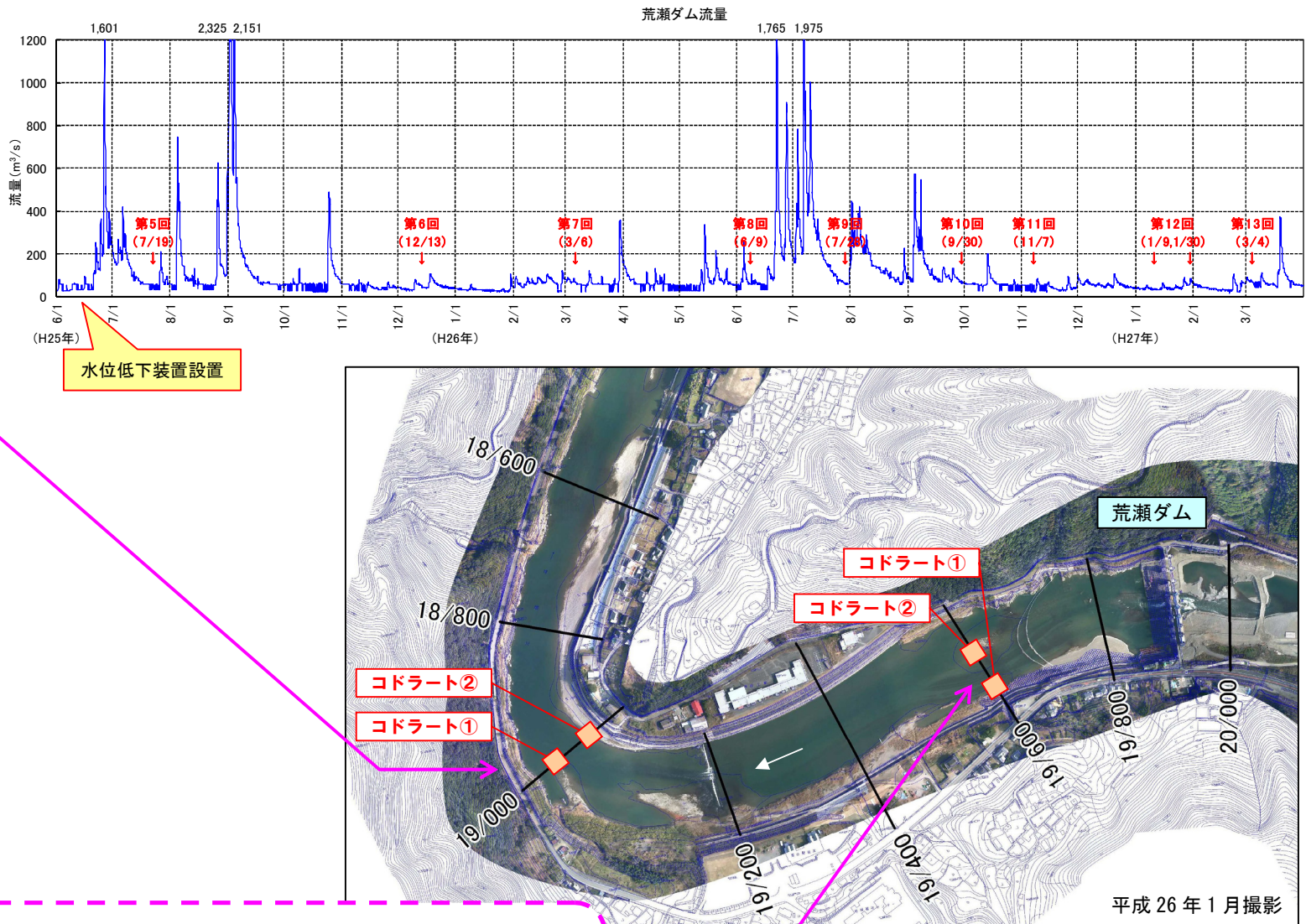
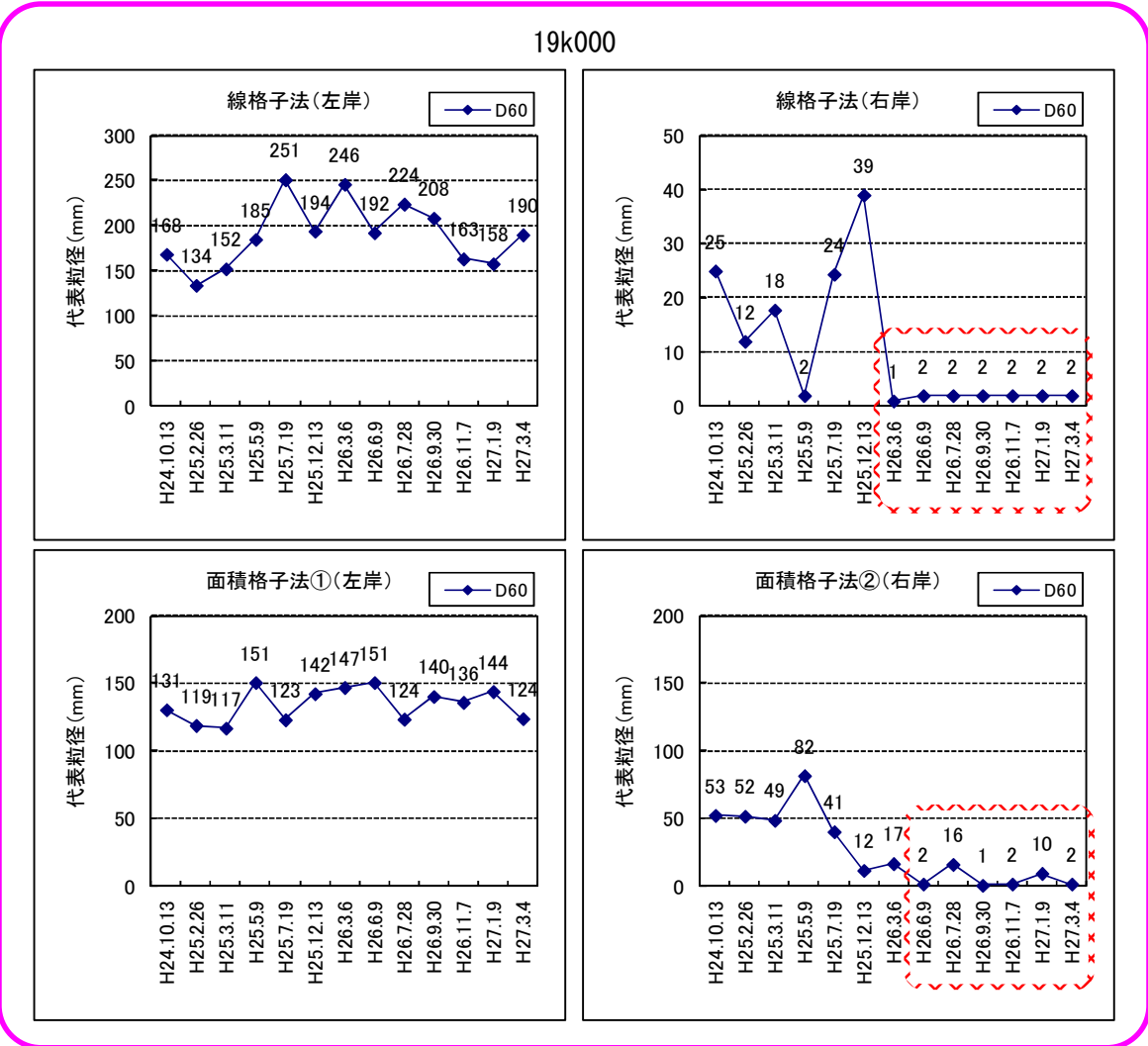
評価項目	視点	平成 26 年度の調査結果概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下装置、ダム撤去等)の影響把握	・ 19k000 では 26 年 7 月に右岸（内岸側）で堆積が進み、流心の位置が左岸（外岸側）に移動した後、大きな変動は見られない。 ・ 19k600 では平成 26 年 7 月に左岸の流心付近で土砂堆積が進行した後、大きな変動は見られない。



【荒瀬ダム下流における物理環境（河床材料）の変化の概要】

● 60%粒径

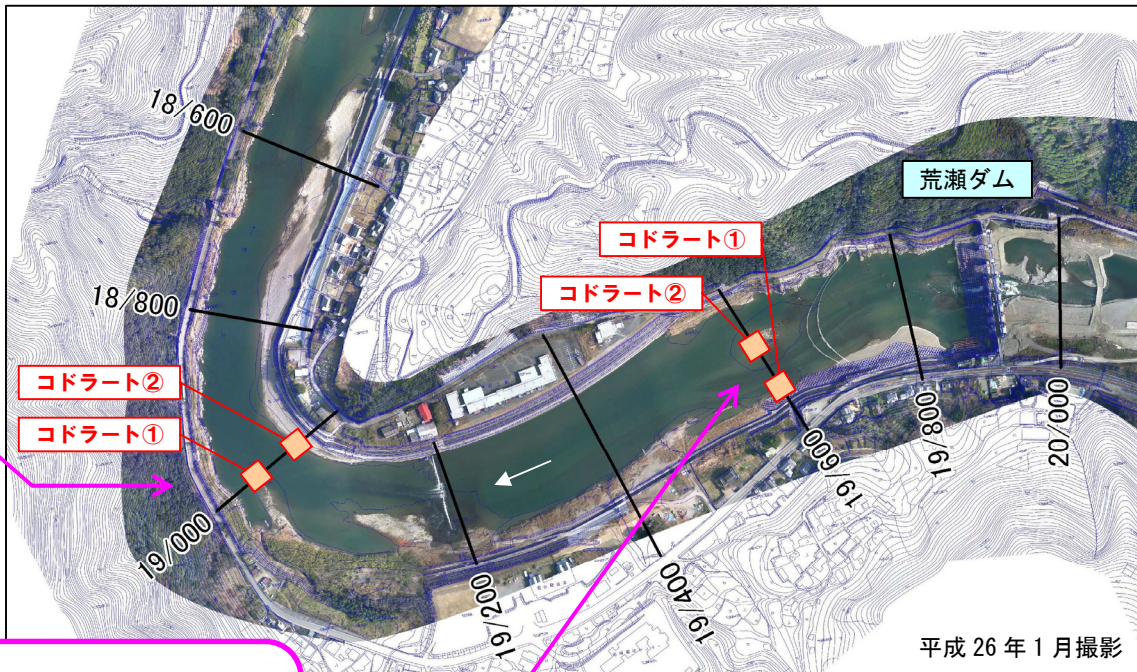
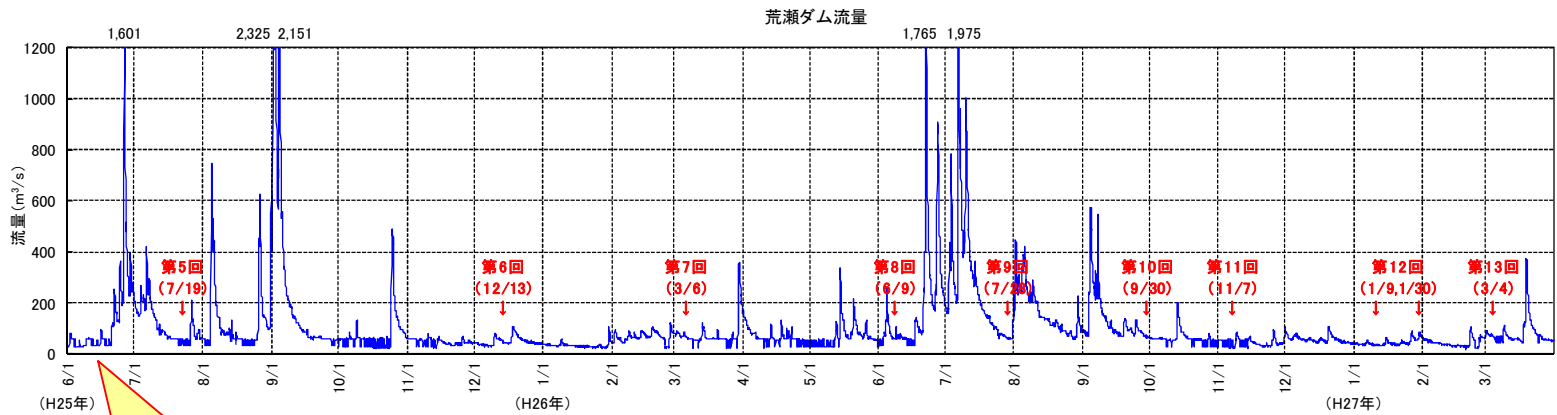
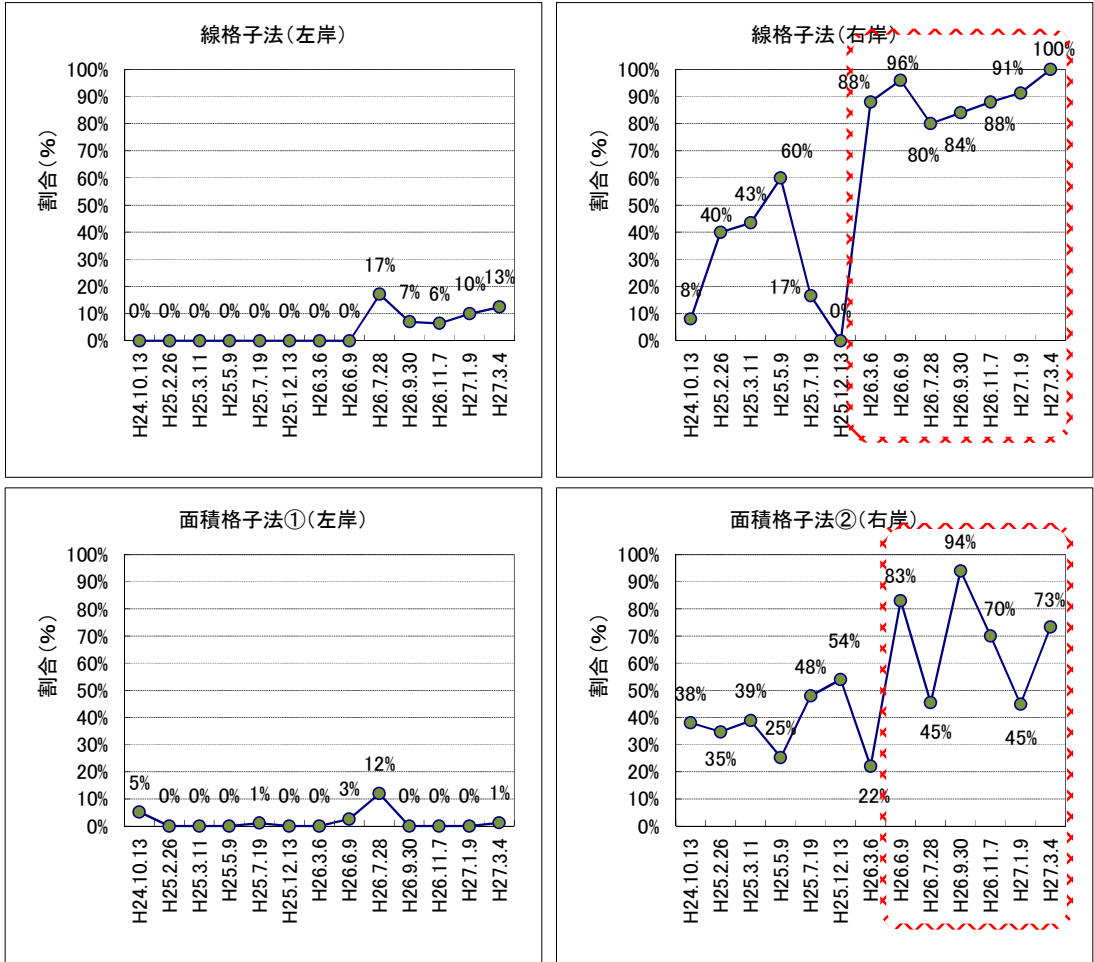
評価項目	視点	平成 26 年度の調査結果概要
出水前後や工事 実施前後の変化 状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下 装置、ダム撤去等)の影響把握 【全体の概要把握】	19k0 右岸(内岸側)では線格子法で平成 26 年 3 月以降、面積格子法で平成 26 年 6 月以降に細粒化が進行し、その状態を維持。 19k6(直線部)では線格子法で平成 26 年 9 月以降、面積格子法(右岸)で平成 26 年 7 月以降に細粒化が進行し、その状態を維持。



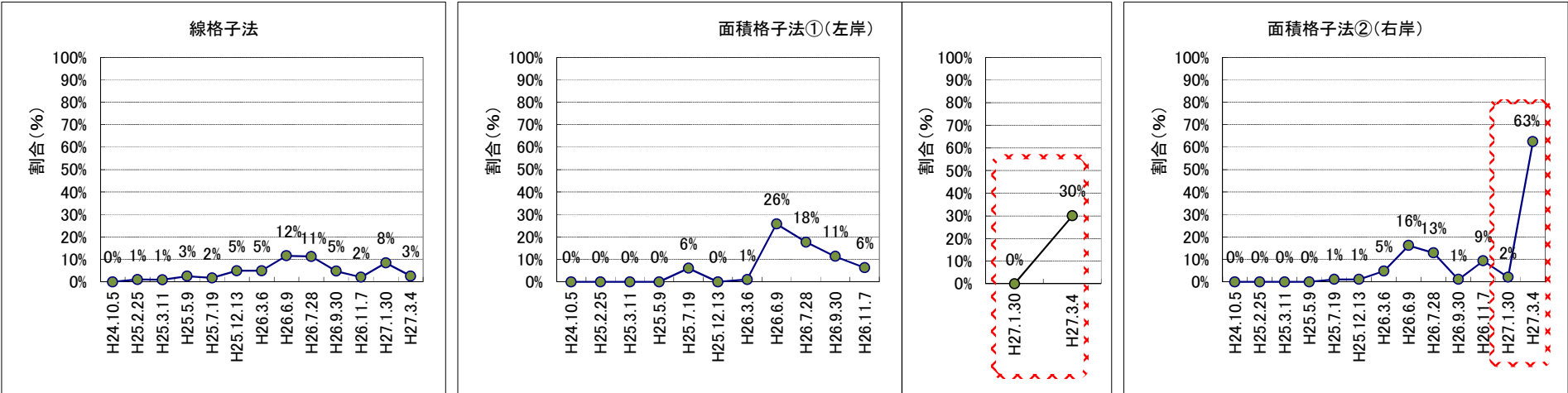
● 粒径 2 mm 以下の割合

評価項目	視点	平成 26 年度の調査結果概要
出水前後や工事 実施前後の変化 状況	出水や荒瀬ダム撤去関連工事(水位低下 装置、ダム撤去等)の影響把握 【全体の概要把握】	19k0 右岸(内岸側)では、前出の 60%粒径と同じ傾向が見られる。 19k6(直線部)では、面積格子法(左右岸)で、平成 27 年 1 月から 3 月の間で大きく増加している。特に右岸で顕著である。

19k000



19k600



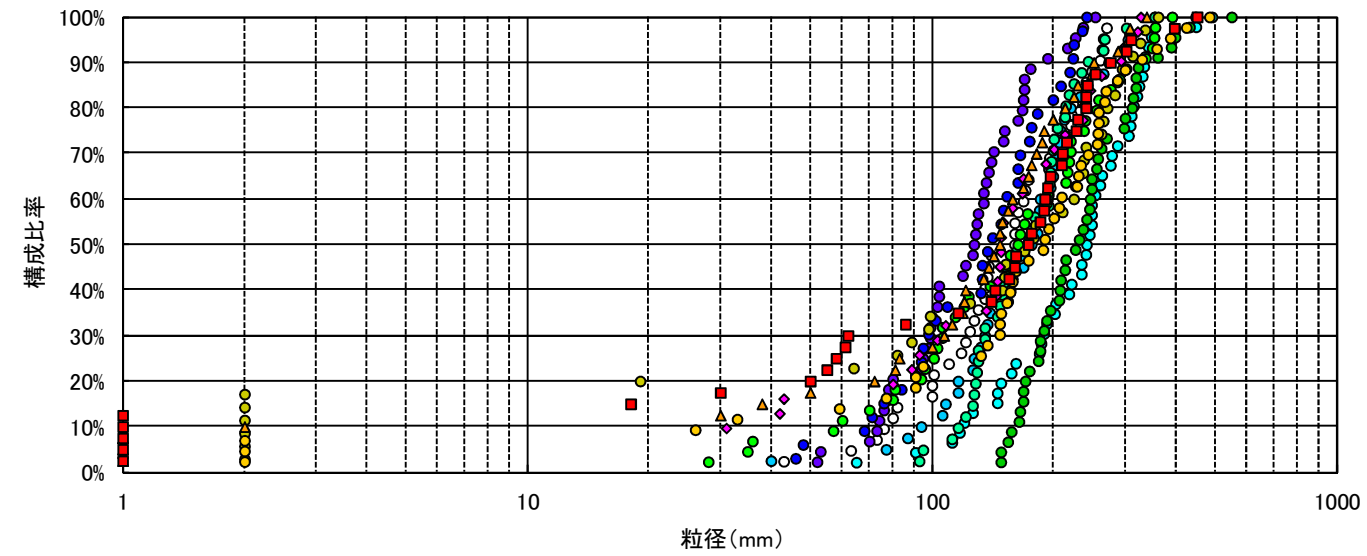
● 線格子法

○H24.10.13 ●H25.2.26 ●H25.3.11 ●H25.5.9 ●H25.7.19 ●H25.12.13 ●H26.3.6
●H26.6.9 ●H26.7.28 ●H26.9.30 ●H26.11.7 ▲H27.1.9 ■H27.3.4

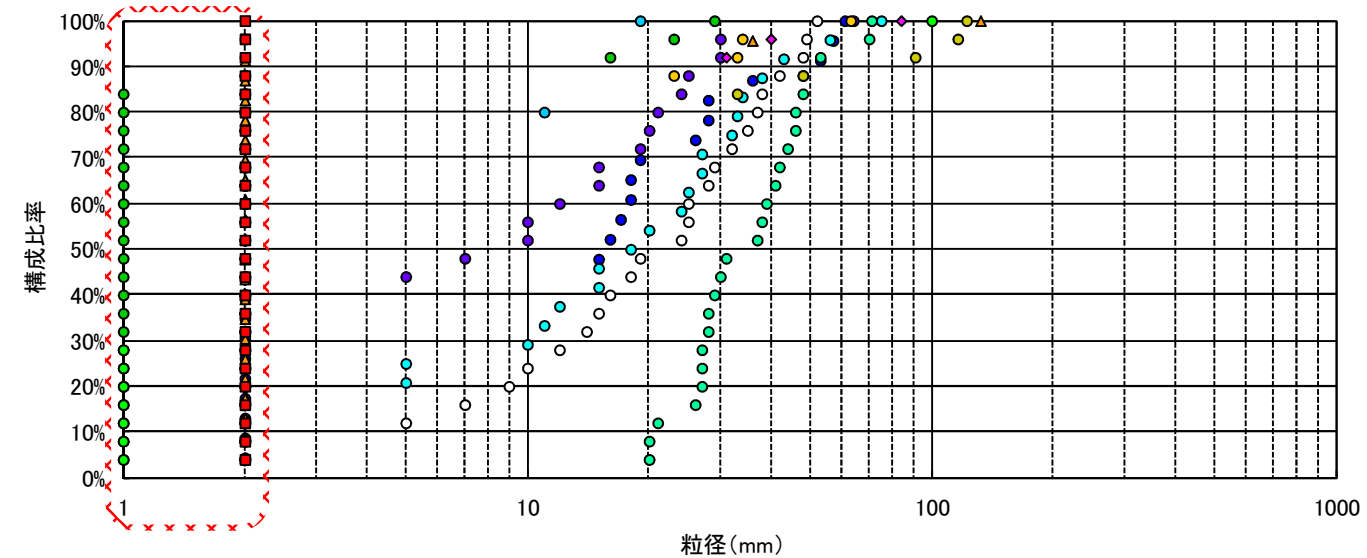
○H24.10.5 ●H25.2.25 ●H25.3.11 ●H25.5.9 ●H25.7.19 ●H25.12.13 ●H26.3.6
●H26.6.9 ●H26.7.28 ●H26.9.30 ●H26.11.7 ▲H27.1.30 ■H27.3.4

19k000（蛇行部）

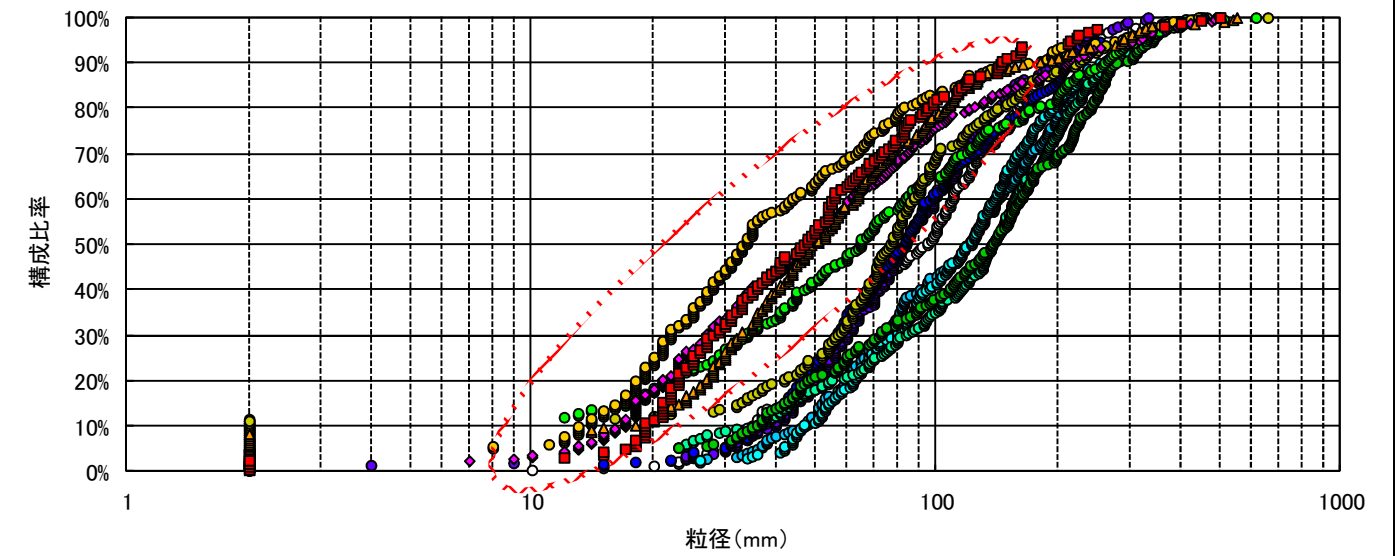
左岸（外岸側）



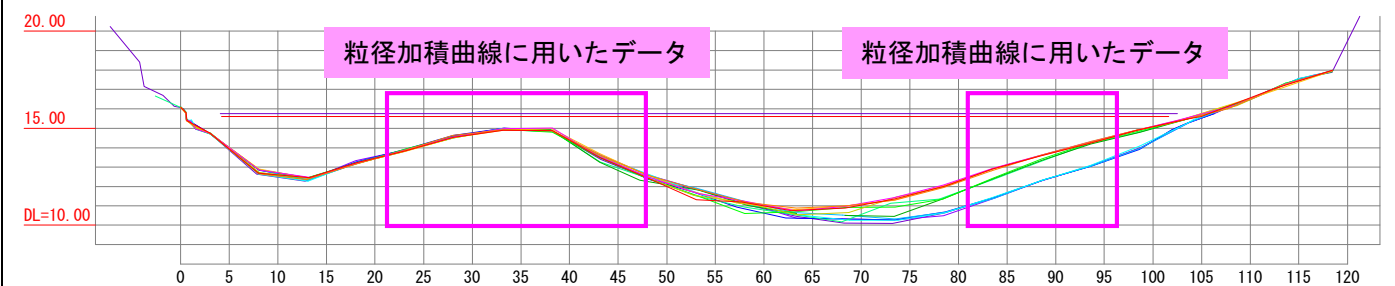
右岸（内岸側）



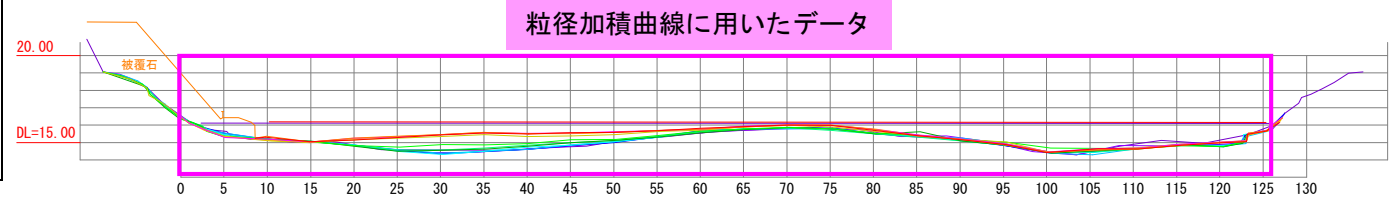
19k600（ダム直下流の直線部）



19k000



19k600



● 面積格子法

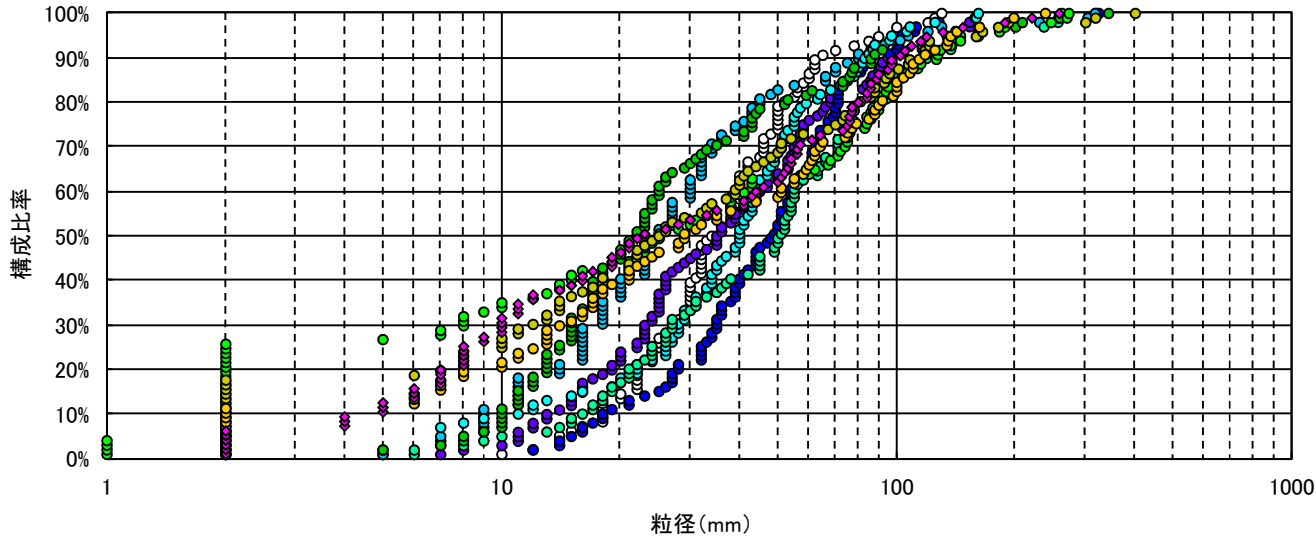
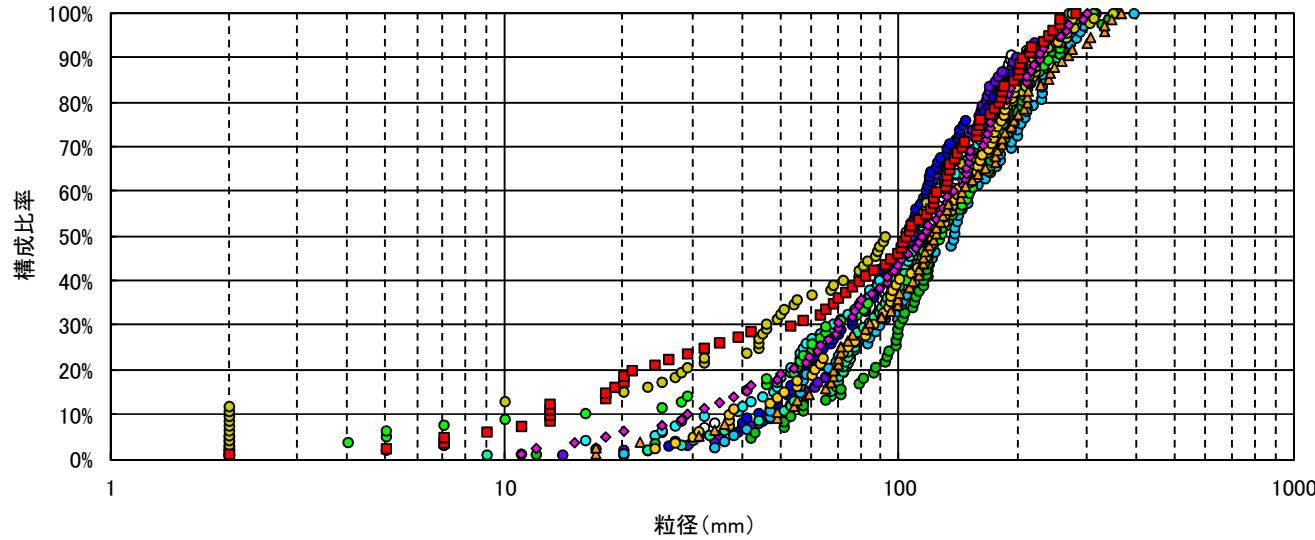
- H24.10.13 ●H25.2.26 ●H25.3.11 ●H25.5.9 ●H25.7.19 ●H25.12.13 ●H26.3.6
●H26.6.9 ●H26.7.28 ●H26.9.30 ●H26.11.7 ●H27.1.9 ●H27.3.4

- H24.10.5 ●H25.2.25 ●H25.3.11 ●H25.5.9 ●H25.7.19 ●H25.12.13 ●H26.3.6
●H26.6.9 ●H26.7.28 ●H26.9.30 ●H26.11.7 ●H27.1.30 ●H27.3.4

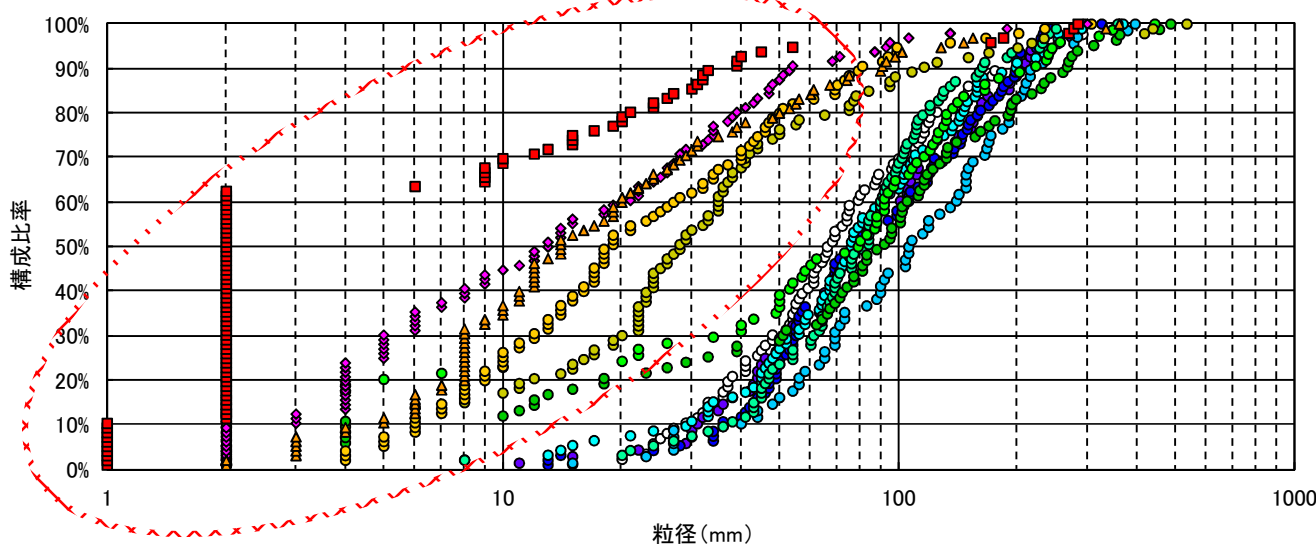
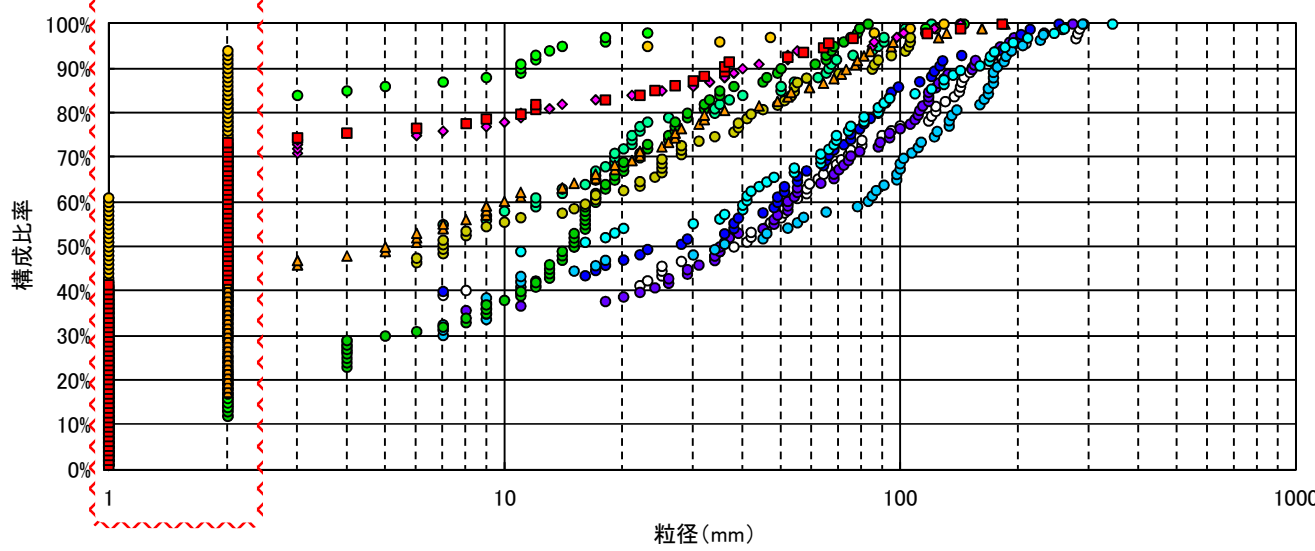
19k000（蛇行部）

19k600（ダム直下流の直線部）

左岸



右岸



● 平成27年5月8日の19k6のコドラート②の速報

評価項目	視点	平成27年5月8日の19k6のコドラート②の調査結果概要	評価概要
出水前後や工事実施前後の変化状況	みお筋部撤去の影響把握	- 横断形状は、右岸流心部に若干の堆積がみられるが、大きな変動はない。 - 右岸の面格子法の調査結果では、3月で細粒化した粒径が、5月には大きくなっている。	2月下旬～3月上旬の工事により細粒分が荒瀬ダム下流に流下し、河床に細粒分が堆積した。しかし、<u>みお筋部撤去完了後は、みお筋部の主流により河床表面の細粒分の一部が洗い出されていると</u>考えられる。

